

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 一宮市立西成小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒491-0005
愛知県一宮市西大海道字障子目 30 番地

E-mail : nisina-e@city.ichinomiya.aichi.jp
 Website : http://www.school.city.ichinomiya.aichi.jp/~nisina-e/
 児童生徒数：男子 179 名 女子 177 名 合計 356 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

本校では、ESDを「人・自然・社会との関わりやつながりを尊重できる個人を育む教育」という視点でとらえ、環境・人権・国際理解・伝統文化の領域での学習を深め、総合的な人間力を育むことをねらいとしている。書籍や映像

による知識や理解にとどまらず、体験を通して学ぶことをめざし、自律心、思考力、判断力、実践力の育成を図ると共に、人・自然・社会とのつながりを尊重できる児童の育成を図っている。本年度の実践は次の通りである。

(1) 環境教育に関する活動…環境に対する責任と役割を理解し、環境問題に主体的に取り組む態度と能力を育てる。

①社会見学（４年生、６月）

市の環境センターと佐千原浄水場を見学し、ごみや水の処理について学び、自分たちが環境保護のためにできることは何かを考えた。

②資源ゴミ回収（４年生、６・１０・３月）

地域の資源回収に参加し、分別や運搬作業を手伝うことで、資源の大切さと奉仕活動の尊さを知ることができた。

③ヤゴ救出作戦（２年生、６月）

プール清掃の際に２年生がプールに生息するヤゴを捕り、とんぼになるまで世話をして観察をした。身近な水辺環境と、そこに住む水生生物の生態について学んだ。

④栽培活動

・サツマイモ栽培（全学年、５～１１月）

学校東の畑にサツマイモを植え、世話をして収穫した。苗植えや夏の草取りを自らの手で行い、収穫するまでの苦労を体験した。

・米作り（５年生、６～１１月）

J Aの営農指導課の方を招き、田起こしや田植えの指導をしていただき、校地内の田で稲を育てた。稲刈り、収穫、調理まで行い、学習したことをまとめた。

(2) 人権教育に関する活動：偏見や差別を許さず、互いの人権を尊重し、望ましい人間関係を築くことができる態度を育てる。

①一宮東養護学校との交流（全学年、６・１０月）

６月と１０月に、一宮東養護学校の児童と交流活動を行った。互いに訪問し合い、自分たちで企画したゲームや歌、スポーツなどを一緒に行った。１年時から同じペアで活動することで６年間の積み上げができ、相互理解を深めることができている。

②福祉実践教室（２・４年生）

障害のある方を講師として招き、手話・車いす・点字・ブラインドウォークを実際に体験した。

③いじめ防止活動（児童会、１２月）

人権週間における全校集会で、児童会役員が、いじめ防止啓発の劇や意見発表を行なった。児童会役員が企画することで、児童の目線に合った啓発活動となった。

(3) 国際理解教育：異文化を理解・尊重し、国際協力に貢献できる態度を育てる。

育てる。

①エコキャップ運動、アフリカへ毛布を送る運動（児童会）

児童会が全校に呼びかけてエコキャップや毛布を集め、発展途上国の恵まれない子どもたちに送った。発展途上国の実態について知ることに繋がった。

②国際交流（全学年、７・９月）

